



▲ 出発式の様子

札幌出発当日。初めての飛行機に緊張している様子も見られましたが、機内では窓からの景色を楽しんでいました。



機内での様子 ▶

迎えた交流当日（8月1日）。活動のメインは、定山溪温泉じょうざんけいの魅力発信に関する意見交換と提言です。

会場到着後、松本市・札幌市・奈井江町合同で4つのグループに分かれての活動となりました。

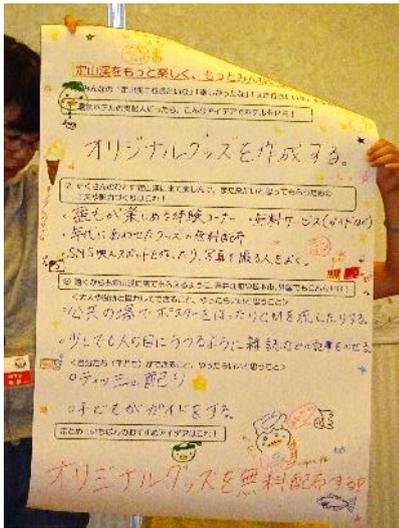
午前中は、定山溪温泉の歴史の勉強や定山溪のホテルの裏側（温泉の汲み上げ設備や調理場など）の見学、足湯体験や定山溪観光協会おすすめのアクティビティであるカヌーを体験し、定山溪エリアの学習をしました。



午後に行った、意見交換と提言のテーマは「定山溪をもっと楽しく、もっとみんなに伝えたい!」でした。難しいテーマに悩む様子がありましたが、午前の見学や体験のことを活かして考え、「オリジナルグッズを作成して集客する」や『定山溪ゲーム』（定山溪をテーマにした手遊び）を考えたので、これを広めていく」など、子ども目線で提言してくれました。

提言の際には、定山溪のPRキャラクター、河童の「かっぼん」も見に来てくれて、子どもたちに大人気でした。

松本の子どもたちは、初めは緊張してしまい、札幌市・奈井江町の子どもたちとなかなか話ができませんでしたでしたが、最後には「仲良くなれた」と笑顔で報告してくれました。



● 松本PRティッシュ配り ●

交流の他に、松本市の単独事業として、JR 札幌駅前、松本市をPRするためのティッシュ配りを行いました。「松本市は良いまちなので是非遊びに来てください」など元気に声をかけながら行いました。

思うように受け取ってもらえないこともありましたが、諦めずに最後までやりきって、約 150 個のティッシュを配り、PRしました。

